

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題	28年度決 算額[千 円]	29年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成30年度に取組む改革・改善内容	30年度予 算額[千 円]
1	一般	9	1	1	234消防力の強化	消防事務に要する経費	消防総務課			①災害活動に必要な装備品及び資機材の整備、消防被服の貸与。 ②災害の増加及び複雑多様化に対応するため、計画的な資機材整備を継続する必要がある。	94,030	107,342	6精査・検証	①市民の安全で安心な生活を守るため、消防活動に必要な資機材、装備品は必要不可欠である。 ②災害件数の増加及び訓練による消耗を勘案し、円滑な業務遂行を維持しつつ、今後も継続した経費削減を図る。	90,479
2	一般	9	1	1	234消防力の強化	消防庁舎の管理運営に要する経費	消防総務課			①消防庁舎各種設備の保守管理業務委託 ②消防施設機器の管理及び良好な職場環境の保持は、消防活動拠点の機能維持に必要であり継続する必要がある。	15,629	16,215	6精査・検証	①消防の任務遂行のため、消防庁舎機能の保持は必要不可欠である。 ②継続的に保守点検を実施し、防災活動拠点としての機能を維持する。	16,658
3	一般	9	1	1	234消防力の強化	職員研修に要する経費	消防総務課	○		①消防職員として業務遂行上必要な専門知識及び技能を習得するため、消防大学校等の各種研修所に派遣する。 ②災害の増加及び複雑多様化に対応するため、継続的に知識及び技術の修得が必要である。	4,213	4,603	6精査・検証	①専門的な知識や技術は、外部機関による取得以外に方法はなく、救急救助体制の確立には必要不可欠である。 ②消防力維持のため、計画的に職員研修を実施していく必要がある。	3,963
4	一般	9	1	3	234消防力の強化	消防車両更新事業	消防総務課	○	○	①消防活動を維持するために必要な、消防車両及び車両積載品を更新整備する。 ②鎌ヶ谷市消防用自動車更新計画に基づき更新しているが、消防力の整備指針改正等を踏まえ、本市の車両台数、更新計画を継続的に検討する必要がある。	46,630	38,375	6精査・検証	①市民の安全安心のため消防車両等の更新は、継続していかなければならない。 ②本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速且つ、的確な活動が出来る車両を更新整備する。	94,530
5	一般	9	1	3	234消防力の強化	消防本部庁舎建替事業	消防総務課	○	○	①耐震性能に優れた消防本部庁舎に建替えることにより、災害活動拠点としての機能を確保する。 ②近隣家屋の事後調査及び対象家屋の住民に対する物件補償が完了した。	125,419	1,324	1終了	①建替及び近隣家屋への物件補償が完了し、事業すべてが完了したため。 ②なし	0
6	一般	9	1	3	234消防力の強化	中央消防署改修事業	消防総務課	○	○	①竣工から48年経過(昭和45年竣工)した中央消防署の外壁等を改修することにより、建物の長寿命化を図るとともに、災害活動拠点としての機能を確保する。 ②改修工事に伴い隣地住民への影響及び災害出場に支障が生じないように考慮する必要がある。	0	3,340	6精査・検証	①消防庁舎は災害活動拠点としての機能を維持していくことが必要不可欠であるため。 ②実施設計に基づき、老朽化した中央消防署外壁等の改修工事を実施する。	32,400
7	一般	9	1	3	234消防力の強化	中央消防署非常用自家発電設備更新事業	消防総務課	○	○	①設置から37年が経過した中央消防署の非常用自家発電設備を更新することにより、災害活動拠点としての機能を確保する。 ②災害活動に影響がないよう工事中の消防署の機能維持について調整する必要がある。	0	338	6精査・検証	①消防庁舎は災害活動拠点としての機能を維持していくことが必要不可欠であるため。 ②実施設計に基づき、老朽化した中央消防署非常用自家発電設備の更新工事を実施する。	12,600
8	一般	9	1	1	234消防力の強化	予防業務に要する経費	予防課	○		①火災予防を推進するため、消防訓練時の指導や住宅用火災警報器の普及及び維持管理啓発を実施するとともに、建築確認時の消防設備の設置指導や検査、立入検査を行う。 ②住宅用火災警報器の設置後、10年を経過する住宅が増加することから、機器本体の更新について啓発する必要がある。	2,653	2,730	6精査・検証	①住宅用火災警報器普及調査未調査地区の訪問調査や消防関係の催物開催時に、設置促進や維持管理啓発を実施した。 ②住宅用火災警報器の設置義務化から10年を経過するため、自治会班回覧や消防関係の催物開催時に維持管理啓発を継続的に実施するとともに、住宅用火災警報器普及調査の未実施地区への訪問調査を実施する。	2,747
9	一般	9	1	1	234消防力の強化	警防業務に要する業務	警防課	○		①救急車到着までの間、居合わせた人による効果的な応急手当の実施を目指し、市民などに救命講習を実施する。 ②継続的に講習会を開催し、更なる受講者の拡大のため効果的な広報活動等の実施を検討する。	14,836	15,043	6精査・検証	①継続的に取り組み検証し、対応することが安全に暮らせる社会に繋がる。 ②継続的に講習会を実施することにより、講習修了者を増やす。	24,966
10	一般	9	1	1	234消防力の強化	大規模災害時応援に要する経費	警防課			①緊急消防援助隊・千葉県広域応援隊として、県内県外に応援隊を派遣する。 ②人員、資器材、燃料、食料等の維持管理を含め、派遣体制の充実に努める必要がある。	0	0	6精査・検証	①有事の際に応援隊の派遣及び運用を円滑かつ迅速に行うことが必要のため。 ②出動の際の資器材等を確認すること及び速やかな準備体制の構築を行う。	699
11	一般	9	1	1	234消防力の強化	消火栓改修事業	警防課	○	○	①経年劣化により破損の危険がある消火栓7基を、4ヶ年に分け優先度の高いものから計画的に改修を行う。 ②現在使用不能としている消火栓について、早急に改修を行う必要がある。	3,486	3,148	6精査・検証	①消火活動に欠かせない消防水利について、今後も維持管理を行う必要がある。 ②経年劣化によりボルトが腐食し、破損の危険がある消火栓7基のうち、2基の消火栓の改修を行う。	4,585

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題	28年度決 算額[千 円]	29年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②平成30年度に取組む改革・改善内容	30年度予 算額[千 円]
12	一般	9	1	1	234消防力の強化	防火水槽解体・撤去事業	警防課	○	○	①防火水槽敷地地権者からの防火水槽撤去要望により、解体撤去工事を実施していくもの。 ②用地を賃貸借している防火水槽は、今後も地権者からの要望があった場合は、解体撤去をする必要が生じ、状況に応じ工事費が高額となる。	0	23,674	1終了	①防火水槽の解体撤去が完了したため。 ②事業が完了したため、30年度に取組む内容等なし。	0
13	一般	9	1	2	234消防力の強化	消防団運営に要する経費	警防課	○		①各種災害に出動して中心的な役割を果たす消防団を維持するため、計画的な運営を図るとともに、環境を整備する。 ②環境整備及び広報活動の拡充等を行い、団員の減少に歯止めをかけ人員を確保する。	27,145	27,499	6精査・検 証	①防災に関する市民ニーズは上昇傾向にあり、今後、更に高まると予想できるため、継続して行う必要がある。 ②消防団施設の維持管理及び人員確保と装備の充実化を図る。	29,139
14	一般	9	1	2	234消防力の強化	消防団装備品整備事業	警防課	○	○	①消防団員が効果的な活動を行うために、消防団装備品の充実強化を図る。 ②消防団装備品整備事業として計画的に装備品を整備する必要がある。	806	4,994	6精査・検 証	①消防団装備品の充実強化に関しては計画的に行っており、今後もこれに係る手続きを進める必要がある。 ②消防団員の防火衣について安全性、活動性に優れた防火衣への更新を行う。	3,000